

令和5年度学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①新たな教育課程を着実に実施するとともに検証を行い、令和4年度からの教育課程を編成、実施する。</p> <p>②生徒の学習意欲を喚起し、基礎学力を確実に定着させるとともに、思考力・判断力・表現力を育成する。</p>	<p>①来年度より全学年で実施する新教育課程での指導と評価の一体化を着実に進め、学校として標準化を図る。</p> <p>②一人一台端末を用いた授業の展開方法や、ICTを活用した教材などを情報収集して整理し、職員で共有・活用する ②放課後や長期休業中の補習や講習の講座の実施、教科会や教員研修の充実を図る。</p>	<p>①各教科・科目において、学習指導要領に基づいた指導と評価の計画を作成し、寒川高校としての標準的方策を共有する。</p> <p>②ICTの特性を活かした教材を研究し、学校全体での共有化を図るとともに、生徒からのアンケートなどをもとに授業改善を行う。 ②各学年で、生徒のニーズに応じた講座等を実施するとともに、教員研修講座を開催し、スキルアップや情報共有を行う。</p>	<p>①各教科・科目で、標準的な方策が作成・共有できたか。</p> <p>②教材の研究成果や、授業の改善点などの情報を共有できたか。 ②生徒のニーズに応じた講座等を実施できたか。また、教員研修を通じて、生徒に還元できる教材等を開発できたか。意識の向上が見られたか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①基本的な生活習慣を確立させ、規範意識を醸成するとともに、安心して学校生活を送れるように生徒の心のサポートを行う。</p> <p>②部活動への加入率を高め、学校全体を活性化するとともに、地域社会に貢献できる人間力を育む。</p>	<p>①社会の一員として必要な高校生として望ましいルールやマナーの定着を図り、生徒の実情を把握し、生徒個々に応じた組織的支援体制をさらに強化する。</p> <p>②新入生歓迎会や部活動体験会を開き、部活動への加入を促進する。また、部活動の環境を充実させるため、活動に必要な環境を整備するとともに主体的な取組を促す。</p>	<p>①「生徒支援の指針」と「生徒対応の手引き」を全教職員での共通認識を図り、SSEの取り組みや交流当番、下校指導などを通じて、個別理解を推進し、問題行動の未然防止を図る。</p> <p>②新入生歓迎会において生徒代表から各部の魅力を発信させる。部活動体験会で新入生全員に部活動を体験させる機会を設け、部活動への加入を促進する。 ②部活動の予算を最大限に生かし、環境を充実させる。</p>	<p>①生徒の問題行動の発件数を減少させることができたか。</p> <p>②新入生の部活動加入率40%以上かつ、退部率を10%以内に抑えられたか。 ②3つ以上の部活動で県大会出場以上の実績を残せたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	生徒に自己の在り方生き方を考えさせ、望ましい勤労観や職業観と主体的に進路を選択する能力を育成して、進路実現につなげる。	<p>①生徒の希望や状況を把握し合意形成のもと、個々の適性に合った進路実現ができるよう細やかな進路指導・進路支援を実践する。</p> <p>②キャリア教育に係る外部の資源を有効に活用し、生徒の進路意識の向上を図る。 ②目標を持って進路実現できる生徒を育成する。</p>	<p>①校内の支援体制及び校外の支援機関とも連携し、進路指導に関わる支援の充実を図る。 ①求人票システムの導入を通じ、進路指導の効率化と生徒の進路選択の最適化を合わせて進められるよう、運営面での改善を図る。誰でも対応できる進路指導体制を構築するとともに、事故防止に努める。</p> <p>②地元企業等と連携した本校独自のインターンシップをはじめとする体験活動や職場見学等を実施し、生徒の職業観を育成するとともに、1・2年次における生徒の進路意識の向上を図る。</p>	<p>①生徒が目的を持って進路を選択することができたか。進路未決定率を10%以内とすることができたか。 (昨年度9%) 適切な支援体制のもと、進路支援を行うことができたか。</p> <p>②生徒の多様な進路のニーズを踏まえ、本校独自のインターンシップ等の体験活動を企画・実施する。 令和4年度と比較し体験者数を増やすことができたか。</p>
4	地域等との協働	寒川町唯一の高等学校として、寒川町や近隣地域、小中学校の期待に応え、地域に親しまれ、地域とともにある学校づくりを進める。	<p>①寒川高校の情報を中学生や保護者、地域に積極的に発信するとともに、町や地域のイベントへの生徒の参加や近隣の小中学校との交流を推進する。</p> <p>②広域避難場所として地域との連携を図り、町の防災体制、減災対策の一翼を担う。</p>	<p>①ホームページや学校案内を充実させるとともに、ツイッターを活用し、迅速な情報発信を行う。 ①町や地域と情報交換しながら、地域との交流やイベントに、生徒が参加する機会を増やす。</p> <p>②コロナ禍も緩和されるので、寒川町防災担当部署及び近隣自治会と連携方法を再構築する。</p>	<p>①ホームページの更新や、ツイッターでの情報発信を適切かつ速やかに行ったか。 ①町や地域のイベントへの参加、近隣の小中学校との交流機会が増えたか。</p> <p>②町や地域の防災訓練に参加し、町の防災対策に協力できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	職員全体が学校運営上の課題を共有し、安全・安心な学校づくりに邁進するとともに、事故・不祥事防止の徹底を、より一層推進する。	<p>①教員の働き方改革を推進するため、業務のスリム化、効率化に取り組み事故・不祥事防止に努める。</p> <p>②最終年度になる校舎耐震工事において、安全確保と教育環境の整備を図る。</p>	<p>①業務のスリム化に向けて総括教諭と相談しながら業務を見直す。</p> <p>②仮設校舎から東棟への移転に備え、生徒の動線の安全確保に必要な環境整備計画を立てる。</p>	<p>①業務のスリム化に向けて総括教諭と相談しながら業務を見直すことができたか。</p> <p>②冬季休業中、安全を確保した移転を実践するとともに、環境整備計画を実践できたか。</p>